

岐阜県内の子供たちに、ぜひ活用してほしい「夏・冬の友」

岐阜県が誇る 教師の手で創られた『夏・冬の友』 <おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんも使った! >

戦後、夏休みや冬休みの生活や学習を計画的に進めるためのガイドブックは、現場教師の力によって全国的に出版・編集されてきました。しかし、時代の変遷の中で、その多くが姿を消してしまいました。そんな中で、岐阜県は多くの教師の力によって、毎年改善されながら、出版・編集が続けられています。

夏の友・冬の友ができて70年が過ぎました。それぞれの時代を反映した内容が掲載され、歴史的・文化的な価値もあります。令和6年度版も、50名ほどの教師が執筆・編集にあたっています。

子供たちの豊かな心・健やかな体の成長、確かな学力の定着を願って…



令和6年度「夏の友」のPR



総括領域

- ・長い夏休みを、健康に自律的に過ごすことができるような工夫があります。
- ・情報モラルなど今日的な課題を取り上げ、親子で考えることができるよう工夫しています。

読書領域

- ・紹介されている図書は、過去5年以内のものばかりです。
- ・「物語」は主題や読み応えの観点で、「知識」はストーリー性のあるもので、読みながら知識を得る作品を選書しています。ジャンルも様々で、夏休みの読書を機に、子供が心を動かされたり、新たな興味・関心が生まれたりするきっかけになると思います。

郷土読み物領域

- ・岐阜県で生まれ育つ子供たちに、ぜひとも知っておいてほしい「ふるさとの宝物」を郷土読み物として取り上げ、夏の友での出会いから、興味・関心が深まることを願っています。
- ・夏の友の題材から、さらに知りたいこと、調べたいことが発展していく、夏休みの自主学習の入り口として活用することができます。

家庭地域領域

- ・県内各地で今も続けられている地域行事や、大切な家族、守らねばならない平和、かけがえない自然環境など、テーマごとに写真やイラストを効果的に使い、読みやすく、学びある内容にまとめています。

学習領域

- ・前学年の3学期から現学年の夏休み前までの学習内容について、児童の興味・関心を引き出しながら考える基礎的・基本的な問題や、これまでの学びを生かして自ら考えて取り組めるような問題など、児童が考えてみたいと思える問題となっています。
- ・算数では、県内で採用されている2社の教科書の内容に対応する内容を掲載しています。

宝物領域

- ・夏休みの宝物づくりの参考にしやすいように、多岐にわたる分野の作品、県内各地区の学校からの作品を掲載しています。
- ・宝物づくりの計画をする時には、『友達の宝物コーナー』を学級のみんなで見てみましょう。

表紙領域

- ・児童に配付する時に、表紙で遊べる(工作)ことを伝えてください。
- ・製作の仕方や完成したものが分かるような伝え方を工夫していきます。

先生方へ お礼とお願い

より多くの岐阜県の子供たちに、「夏・冬の友」を届けたいと願い、現在、来年度版の編集を行っています。長期休業期間中に、学習内容の定着と共に、歴史や文化、自然、そこに暮らす人々の生き様など、これからの社会で大切にしていける「ふるさと岐阜の素晴らしさ」について、体験を通して実感させていきたいと考えています。これからも、私たち編集委員は、岐阜県の子供たちのために、努力をまいります。今まで以上に、多くの子供たちの活用を期待しています。

